

IBM Unica Optimize
バージョン 8 リリース 6
2012 年 5 月 25 日

リリース・ノート

IBM

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、11 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Unica Optimize バージョン 8、リリース 6、モディフィケーション 0 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Unica Optimize
Version 8 Release 6
May 25, 2012
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2012.6

© Copyright IBM Corporation 2003, 2012.

目次

システム要件と互換性	1	IBM Unica 技術サポートへの連絡	9
バージョン 8.6.0 の新機能と変更点	2	特記事項	11
IBM Unica 製品の言語サポート	2	商標	13
修正された問題	3		
既知の問題	3		
既知の制限	6		

システム要件と互換性

このセクションでは、IBM® Unica Optimize の今回のリリースについて以下の情報が提供されます。

- システム要件および互換性情報をどこで入手できるか
- サード・パーティーのソフトウェアへのサポートの変更点

Optimize は、IBM Unica Marketing スイート製品の一部として作動します。

Optimize バージョン 8.6.0 では Campaign 8.6.0 が必要です。

Optimize バージョン 7.x 以降から、Optimize 8.6.0 へアップグレードすることができます。手順については、「*IBM Unica Optimize インストール・ガイド*」を参照してください。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM Unica Marketing 製品のバージョンのリストについては、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support>) の「資料」の下に掲載されている「*IBM Unica Compatibility Matrix*」や他の製品互換性ドキュメントを参照してください。

この製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」というドキュメントを参照してください。このファイルは、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support>) の「資料」の下に掲載されています。IBM Unica Marketing にログインした後、「ヘルプ」>「製品ドキュメント」を選択することによって、このドキュメントにアクセスすることもできます。

バージョン 8.6.0 における主要なサード・パーティーのソフトウェアのサポートの変更点

IBM Unica Optimize バージョン 8.6.0 では、以下の新しいバージョンのサード・パーティーのソフトウェアに対するサポートが追加されました。

- Solaris 11.1 (SPARC)
- Red Hat Enterprise Linux 5.7
- Red Hat Enterprise Linux 6.1
- IBM WebSphere® 8.0
- Microsoft Internet Explorer 9 (Windows 7) (32 ビットのみ)

注: 実動インストール済み環境の場合、Optimize は 64 ビットのオペレーティング・システムのみをサポートします。

Optimize バージョン 8.6.0 では、以下のバージョンのサード・パーティーのソフトウェアに対するサポートが終了しました。

- すべての 32 ビットのオペレーティング・システム

- SUSE Linux Enterprise Server 9
- Red Hat Enterprise Linux 4.x
- Red Hat Enterprise Linux 5.1
- Oracle WebLogic 9.2
- IBM WebSphere 6.1
- DB2® 9.1
- SQL Server 2005
- Oracle 10.2

バージョン 8.6.0 の新機能と変更点

IBM Unica Optimize のバージョン 8.6.0 で以下の新機能および変更が導入されました。

「最小/最大オファー数」キャパシティーおよび「カスタム・キャパシティー」ルールでのオファー・バージョンのサポート

「最小/最大オファー数」キャパシティーおよび「カスタム・キャパシティー」ルールを作成する場合、オファー・バージョンを選択できるようになりました。これらのオファー・バージョンは他のルール・タイプの場合と同様に機能します。詳しくは、「*IBM Unica Optimize* ユーザー・ガイド」を参照してください。

IBM Unica 製品の言語サポート

この IBM Unica リリースでは、ほとんどすべての製品資料と製品のユーザー・インターフェースが以下の言語で利用できます。

- ブラジル・ポルトガル語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- 中国語 (簡体字) (GB18030 要件に準拠を含む)
- スペイン語

IBM Unica 製品のロケール設定について詳しくは、「*IBM Unica Marketing Platform* 管理者ガイド」を参照してください。

注: 「ヘルプ」メニューを使用してオンライン・ヘルプおよび他のドキュメントを開くときに、ロケール設定を使用して自動的に (使用可能な場合には) 一致する言語でドキュメントを表示します。

修正された問題

このセクションでは、IBM Unica Optimize 8.6.0 における修正された問題のリストを示します。問題番号、そしてインシデント番号 (当てはまる場合) の順に並んでいます。

問題 ID	説明
DEF045761	2 つの異なるルールを同じ名前で保存することができてしまう。
DEF046384	「セグメントの追加/削除」ダイアログのリスト・ビューのサブフォルダーからセグメントを選択できない。
DEF052781、INC71531	最適化によって「バージョン情報」ページの Interact サブコンポーネントのバージョンが上書きされる。
DEF059372	「ルール例外」ダイアログのエラーが誤って表示される。
DEF059768	ユーザー名に中国語、日本語、または韓国語 (CJK) 文字を使用しているユーザーを、CJK 文字をユーザー名に使用していないユーザーと同時にサポートできない。
DEF059950	Optimize ユーティリティーの実行ができないか、または IBM Tivoli® または SiteMinder ユーザーの Optimize セッションをスケジュールすることができない。
ENH10876	カスタム・セッションの設定に ExtraVerbose が含まれない。
ENH10877	「ルール例外終了日」のカレンダー・セレクターが開始日に選択したのと同じ月を表示しない。
DEF060264	スケジュールされた最適化セッションはセッション名の変更を反映しない。
DEF060404、INC69993	最適化セッションの実行時に最適化プロセス構成の [全般] タブの説明が削除される。
DEF060582	スケジューラーによって実行された最適化セッションの結果が正しく表示されない。

既知の問題

このセクションでは、Optimize 8.6.0 の既知の問題のリストを示します。

問題	問題 ID	説明
マルチバイトのオーディエンス・レベル名を使用すると Optimize セッションの作成は失敗する	DEF023178	マルチバイト文字を使用する非英語言語がオーディエンス・レベル名に使用された場合、Optimize はそのオーディエンス・レベルを含む Optimize セッションを作成することに失敗します。この問題を回避するには、オーディエンス・レベル名に英語か 1 バイト文字セットを使用してください。
マップされていないセグメントのメンバーシップ・テーブルに対する「セグメントの作成」プロセスの実行は Optimize セッションの結果に影響する	DEF050437	オーディエンス・レベルのシステム・テーブルをセグメントのメンバーシップ・テーブルにマップしていない場合、テーブルに対して「セグメントの作成」プロセスを実行すると、システム・テーブルは設定されますが、セグメント・メンバーシップ・テーブルは設定されません。結果的に不正確な最適化結果となります。システムおよびセグメントのメンバーシップ・テーブルを後でマップした場合、「セグメントの作成」プロセスを再実行する必要があります。
ACOOptAdmin ユーティリティーのエラー・メッセージが非英語のロケールに従って表示されない	DEF051284	英語以外のロケールで ACOOptAdmin コマンド行ユーティリティーを実行しても、指定されたロケールに従ったエラー・メッセージが表示されません。エラー・メッセージは英語でのみ表示されます。

問題	問題 ID	説明
Campaign リスナーによって使用されたのと同じ非英語ロケールを Optimize リスナーは自動的に使用しない	DEF051876	<p>非英語のロケールを使用してインストールされた Campaign および Optimize のインストール済み環境では、Optimize リスナーは常にインストールされたロケールではなく英語で開始します。</p> <p>この問題を回避するには、Optimize リスナーを開始するために使用したコマンド・ウィンドウまたはバッチ・ファイル (ACOServer.bat または ACOServer.sh) で、set LANG=xx_XX を使用して以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラジル・ポルトガル語 - pt_BR • フランス語 - fr_FR • ドイツ語 - de_DE • イタリア語 - it_IT • 日本語 - ja_JP • 韓国語 - ko_KR • 中国語 (簡体字) - zh_CN • スペイン語 - es_ES <p>UNIX システムでは以下のコマンドを使用します。</p> <pre>LANG=xx_XX export LANG</pre>
NoClassDefFoundError エラーによって AC0OptAdmin が失敗する	DEF054145	<p>Optimize がインストールされているパスに、スペースがあるディレクトリ名が含まれている場合、AC0OptAdmin を実行することはできません。</p> <p>回避策 - AC0OptAdmin.bat で、二重引用符を使って変数 OPTIMIZE_HOME および JAVA_HOME の値を指定します。</p>
特定の非 ASCII のユーザー資格情報を使用すると Optimize セッション実行の開始に失敗する	DEF054275	<p>Marketing Platform ユーザー名またはパスワードに Euro (€) 記号が含まれている場合、Optimize セッションは開始に失敗します。この動作は UNIX プラットフォームだけで生じます。</p> <p>回避策 - Marketing Platform ユーザー名およびパスワードにユーロ記号を使用しないでください。</p>
unprocessables_sessionid.csv にオファーを受けた顧客が含まれている可能性がある	DEF054841	<p>一部のシナリオでは、オファーを受けた少数の顧客が unprocessables_sessionid.csv ファイルに含まれている可能性があります。</p>
TRYING TO REMOVE STALE PROPOSED RECORDS FROM PCT エラーで Optimize セッションが失敗する	DEF057685、 INC62199	<p>一部のシナリオでは、Optimize セッションは既存の PCT にインデックスを作成しようとします。</p>

問題	問題 ID	説明
Internet Explorer 7 でルール例外の変更をキャンセルした後、カスタム・キャパシティー・ルールの編集が正常にできない	DEF057778	「ルール例外の編集」ダイアログに変更を加えて「キャンセル」をクリックした場合、「カスタム・キャパシティー・ルールの編集」ページに戻って編集できない場合があります。 別のページに移動してから「カスタム・キャパシティー・ルールの編集」ページに戻ると、ダイアログからの変更はすべて保存され、カスタム・キャパシティー・ルールの編集を続けることができます。
特定の環境ではカスタム・キャパシティー・ルールの最適化の結果が不正確である	DEF058362	以下の基準を満たす顧客は、受け取るオファーが希望していたよりも少なくなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 顧客の推奨トランザクションが偶数である。 これらの各トランザクションは同じスコアである。 このスコアは低い値である。
スコア行列の編集ラベルが日本語で間違っていて表示される	DEF059595	スコア行列を手動で編集した場合、テーブルの右側の垂直ラベルは逆さまに表示されます。正しいラベルは、 全顧客 です。
「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートで、各カスタム・キャパシティー・ルールによって削除された推奨コンタクト数が不正確に表示される	DEF059805	この Optimize セッションの参加フローチャートに複数のコンタクト日付および異なるチャンネルの各顧客に対する複数のオファーが含まれている場合、「オファー・サマリー」レポートでカスタム・キャパシティー・ルールの「このルールによる削除」列には不正確な数が表示されます。
競合ルールが存在する場合に Optimize セッションは失敗する	DEF060267	Optimize セッションで競合ルールを作成すると、警告が表示されることなくセッションは失敗します。ログ・ファイルにのみ「(9232) [E] [INTERFACE] ERROR: 生成ループはスラック変数および余剰変数をすべて除去できませんでした。CODE 999: 拡張エラー ((9232) [E] [INTERFACE] ERROR: The generation loop was unable to eliminate all slack and surplus variables: CODE 999: Extended Error)」と通知されます。
オファー・バージョンのクエリー・ビルダーの問題	DEF060676	オファー・バージョンのクエリー・ビルダーに以下の小さい問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> 選択ボックスのフォーム要素タイプを持つカスタム属性の場合、オファー・バージョンのクエリー・ビルダーは選択ボックスを使用しません。値を手動で入力する必要があります。 グループ・レベルが削除された場合、サブグループの条件が親の条件に追加されます (逆もまた同様)。 ストリング変数用にすべての算術演算子が表示されていますが、適用されるのは「等しい」と「等しくない」だけです。 条件の入力の際に、属性の定義された長さは検証されません。
日付を含んだオファー・バージョン・ルールは予期した最適化結果を提供しない	DEF061554	日付を含んだオファー・バージョン条件を作成した場合 (例えば、オファー・パラメーター「valid end date」が「2011/12/31」に等しい) に、Optimize は予期した結果を戻しません。

問題	問題 ID	説明
「レスポンス応答 XML にはデータ xml 要素が欠落しています (Response XML is missing the data xml element)」というエラーにより最適化セッション実行が失敗する	DEF061116	このエラーを受け取った場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。分析のために Optimize サーバーのログを送ることも必要です。
暦年をまたがるルール例外は不正確な結果になる	DEF061639	暦年をまたがる (例えば、2011/07/01 から 2012/06/30) 「最小/最大オファー数」キャパシティー・ルールのルール例外を作成した場合、Optimize は予期した結果を返しません。
中国語、日本語、および韓国語のロケールでは「最適化セッション一覧」タイトルの上部 3 分の 1 が切り捨てられる	DEF063320	「最適化セッション一覧」というテキストの上部 3 分の 1 が切り捨てられます。

既知の制限

このセクションでは Optimize 8.6.0 の既知の制限のリストを示します。

問題	番号	説明
負のスコアは不正確なルールのクレジットの原因となる		負のスコアを使用した場合、「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートのルールのクレジットは正確でない場合があります。 負のスコアを使用したオファーは、最小要件を満たすためだけに指定されます。
オファー割り当てがある TCS にリンクしているセルは Optimize プロセスに表示されない	DEF027481、 DEF061355	Optimize プロセスが 1 つ以上のセルに接続され、その後アップストリーム・セルがターゲット・セル・スプレッドシートのプロセス (TCS) で定義されているトップダウン・セルにリンクされる場合、TCS に割り当てられているオファーは Optimize プロセスに自動的に表示されません。TCS にある任意のトップダウン・セルにリンクしてから、それらのセルを Optimize プロセスに接続してください。それ以外の場合、Optimize プロセス内の同じオファーを手動で割り当てるか、または Optimize プロセスを削除した後に再作成する必要があります。
不在インストーラーによってインストーラー・プロパティ・ファイルは消去される	DEF042448	IBM Unica Marketing インストーラーを不在モードで実行すると、インストーラー・プロパティ・ファイルは削除されます。不在モードで初めて IBM Unica Marketing インストーラーを実行する前に、IBM Unica Marketing インストール・ディレクトリーにある「.properties」ファイルすべてのバックアップ・コピーを作成してください。そして、不在モードでインストーラーを実行するたびにそれらのファイルを復元してください。
片方向 SSL で ACOOptAdmin ユーティリティを実行するには追加のセットアップが必要	DEF046832	セキュリティー証明書を登録し、ホスト名およびドメインを指定し、ACOOptAdmin.bat ファイルで SSL_Options を構成しないと、ACOOptAdmin ユーティリティを片方向 SSL で使用することはできません。

問題	番号	説明
チャンネルは必須オファー属性	DEF051136	IBM Unica Optimize 内の最適化されたオファーはすべてチャンネル・オファー属性を含んでいる必要があります (例えば、IBM Unica Campaign で使用されるオファー・テンプレートすべては「channel」オファー属性を含んでいる必要があります)。チャンネルには非表示オファー属性を選択することができます (オファー・テンプレート属性の設定の詳細については、「IBM Unica Campaign 管理者ガイド」を参照してください)。
ロギング・レベルを「ALL」に設定すると Optimize セッションのパフォーマンスが低下する	DEF054539	ロギング・レベルを「ALL」に設定すると、ログ・ファイルに記録されているデータの容量が大きくなるため、Optimize セッションを実行するのにかかる時間が長くなります。ロギング・レベルを「ALL」に設定するのは、予期しない結果や他のエラーの原因を判別しようとする場合のみにしてください。
unica_acosvr プロセスが停止した場合に最初の試行でセッションを実行することができない	DEF055010	kill コマンドを使用して unica_acosvr を停止して、次に Optimize セッションを実行しようとした場合、「IBM Unica Optimize サーバー・プロセスで不明な通信障害が発生しました (An unknown communication failure has occurred with the IBM Unica Optimize server process)」というエラーで失敗する可能性があります。 回避策- Optimize セッションを再度実行して正常に完了させてください。
Optimize セッションの停止と開始を繰り返すとセッション実行の停止または Optimize サーバー・プロセスの異常終了の原因となる	DEF057799	Optimize UI を使用し、次に ACOOptAdmin ユーティリティを使用し、再度 UI を使用して Optimize セッションを幾度も開始および停止した場合、セッション実行が停止するか、Optimize サーバー・プロセスが異常終了する可能性があります。この動作は常に再現可能ではありませんが、Solaris で見られます。
スコアがゼロに等しい顧客は「最小/最大オファー数」キャパシティー・ルールから削除される	DEF060320、INC68786	Optimize セッションでゼロに等しいスコアを使用しないでください。

IBM Unica 技術サポートへの連絡

ドキュメンテーションを参照しても解決できない問題があるなら、指定されているサポート窓口を通じて IBM Unica 技術サポートに電話することができます。このセッションの情報を使用するなら、首尾よく効率的に問題を解決することができます。

サポート窓口が指定されていない場合は、IBM Unica 管理者にお問い合わせください。

収集する情報

IBM Unica 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細な記録。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手した製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM Unica 技術サポートに電話すると、実際の環境に関する情報について尋ねられることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、インストールされている IBM Unica のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページは、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することにより表示できます。「バージョン情報」ページを表示できない場合、どの IBM Unica アプリケーションについても、そのインストール・ディレクトリの下にある `version.txt` ファイルを表示することにより、各アプリケーションのバージョン番号を入手できます。

IBM Unica 技術サポートの連絡先情報

IBM Unica 技術サポートとの連絡を取る方法については、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support.htm>) を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。



Printed in Japan